

# みやざき 芸術文化協

第123号 令和5年9月27日発行

題字：黒木淳吉

ホームページアドレス <http://www.miyazakigeibun.jp> メールアドレス [geibunky@miyazakigeibun.jp](mailto:geibunky@miyazakigeibun.jp)

## 〈目 次〉

令和5年度事業計画……………	2
「アーツカウンシルみやざき」の事業…	3
会員名簿・賛助会員名簿……………	4
会員だより……………	5
みやざき文化振興計画の概要…	6
ひなたの文化活動推進事業……………	7



## アナウンサーという 仕事に就いて

宮崎県芸術文化協会 評議員

肥田（蘭田）潤子

アナウンサーという仕事に就いて四六年。この仕事为天職だったかどうかはよくわからないが、幼い頃から言葉が大好きだった。ランドセルを背負って、物語を作っては、ぶつぶつとひとり語りながら通学路を帰る不思議な子供だった。言葉を扱う



高原町皇子原公園

仕事を続けられているのは幸せだと感じている。

今、南九州大学で「言葉と文章」という講座を担当させて頂いている。若い学生さんたちと言葉の面白さを共有できたらの思いだ。一五回の講義は、人類が言語を獲得するまでと、その意義から始まる。二回目は日本語の歴史。古代から音としての日本語は存在したが、文字はなかった。大陸から渡来人によって漢字がもたらされる。それも、中国、朝鮮半島で政変が起こる度にその地から多くの人々がやって来て、文字が広まるきっかけとなった。

宮崎には、西都原や生目など多くの古墳がある。その中には、大和地方にある天皇陵とまったく同じ形で少しサイズの小さくなったものがある。これは、当時の中央と地方の主従関係を表現するものだとされる。ところが、漢字の流入によって、文字で主従や地位を表し命令も上申もできるようになると、律令国家が形成され、古墳文化は終焉を迎える。当時の為政者たちは、中国語を操ったが、そのうち日本語の音を文字に表そうと万葉仮名が登場し、仮名が生まれていく。そして紫式部や清少納言などの平安朝文学が、花開くことになる。

もうひとつの日本語の転換期は、明治時代。大学教育が始まり、西洋から多くの教授陣と学問が入ってくる。流入するたくさんの方の言葉を、当時の知識人たちが懸命に日本語に変換していった。「リバイター」という言葉を創った西岡など。今私たちが普段使っている言葉の多くが明治に生まれた。

日本語を話す国は唯一日本だけ。しかも、一国一言語の国は世界でも珍しい。私たちは言葉で考え、言葉を抱いて行動する。私たちの日本語が、いつまでも豊かであってほしいと願っている。

# 令和五年度事業計画

## 1 「令和五年度芸文協助成事業」の実施（予算額一〇〇万円）

県民の芸術文化活動を奨励・援助するため、芸術文化団体の活動に対して助成を行う。

### (1) 助成対象事業

この助成金の交付対象となる活動は、宮崎県内に所在している芸術文化団体の事業とする。

### (2) 募集団体数

一〇団体程度

（令和四年度は四団体）

### (3) 助成額

事業費の二分の一以内、一〇万円を限度とする。

## 2 「令和五年度県民芸術祭（助成事業分）」の実施（予算額四〇〇万円）

### (1) 目的

実施主体である文化団体が日頃の研鑽の成果を広く県民に発表する等により、県民の文化創造や文化意識の高揚を促し、本県芸術文化の振興を図る。

### (2) 内容

希望団体に対するヒアリングを実施した上で、申請のあった

句・川柳の六部門

### (2) 作品受付

令和五年八月一日（火）～九月八日（金）

### (3) 応募資格

県内在住者。県内在勤者・在学者を含む。職業作家は除く。

### (4) 審査・表彰

審査委員による審査を行い、入賞・入選者を決定し表彰する。

表彰式は令和六年二月二二日（木）に実施

### (5) 作品集発行

作品集「みやざきの文学」を発行し、入賞・入選作品等を掲載し、広く関係機関・団体等に配付する。希望者に有料頒布する。  
発行部数：六〇〇冊

## 4 ひなたの文化活動推進事業の実施（県からの受託事業）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により大きく制限を受けた文化団体・文化活動の再開・活性化を図るため、国文祭・芸文祭の成果等も活かし、文化の裾野を広げ文化と多様な分野との連携を図る取組を推進する。

(1) 各種文化団体等多様な主体間のつながりや連携を促進す

るための場づくり及び情報の発信

(2) (1)に関する取組を実施する文化団体への助成（予算額五〇〇万円）

## 5 「アーツカウンシルみやざき」機能拡充事業（県からの受託事業）

県内の文化活動の支援機関として設置した文化芸術の専門人材による「アーツカウンシルみやざき」は、常勤二名で体制強化を図ることができたことから、令和五年度においては、文化団体からの相談対応や各種研修や事業助成事業の助言・評価などを適宜適切に行いながら、本県文化の向上と魅力ある地域作りにつなげる。

## 6 各種事業の後援等

申請に基づき、芸文協会員等が実施する芸術文化事業について名義後援を行う。

## 7 第三三回公益財団法人宮崎県芸術文化協会「芸術文化賞」の授賞

芸文協の加盟団体または加盟団体に所属する個人、その他適当と認める団体又は個人で、顕著な芸術文化活動を行った団体、個人の顕彰を目的に、芸術文化賞を授賞

する。

- (1) 部門 芸術文化賞、芸術文化奨励賞（いずれも個人・団体）
- (2) 推薦 加盟団体
- (3) 授賞式 令和五年度中の通常理事会開催日に実施（一二月予定）

## 8 会報「みやざき芸文協」第二二三号（第一二四号の発行）

芸文協及び芸文協会員の活動状況等を適時適切に記録するとともに、芸術文化活動の促進に関する情報を会員並びに県民に周知する広報資料とする。

- (1) 体裁 A4判八ページ
- (2) 発行部数 一四〇〇部
- (3) 発行時期 本年度は九月及び三月

## 9 「宮崎県文化年鑑2023」の発行

本県内の主な芸術文化活動の状況を記録し、現在及び将来の本県文化振興の資料とする。

- (1) 体裁 A5判  
約一八〇ページ
- (2) 発行部数 四〇〇部
- (3) 発行時期 本年一二月

## 10 加盟団体等に対する支援、文化団体の育成等

- (1) 加盟団体は、三年にわたるコロナ禍等により活動力の低下・組織の弱体化がみられることから、アーツカウンシルみやざきの機能を活かし、各団体へのヒアリング・助言等を実施し、組織力や活動力の強化に向けた取組を促す。
- (2) 芸術文化団体の加入や賛助会員獲得に向け、関係機関・団体との連携強化を進める。
- (3) その他文化団体育成のために必要な取組を適宜実施する。

## 11 芸文協運営のための会議

- ① 理事会、② 評議員会、③ 専門委員会（総務財政専門委員会）、④ 会員（加盟団体）代表者会議ほか

## 「アーツカウンシルみやざき」の事業

### 1 文化芸術活動の支援（相談、アドバイス、ブラッシュアップ、マッチング）

常勤のプログラムディレクターとプログラムオフィサーの二名体制を維持し、令和五年度は加盟団体や今

までにできなかった中山間地域の支援にも注力し、県内の文化活動の支援を行います。

### 2 文化団体相互及び他分野との交流連携の促進

地域間ネットワークの形成に向けた継続的な取組と、県内各地での相談の実施を行い、県全域への支援を目指します。芸文協加盟団体へのヒアリングや相談対応を中心に、県内市町村への訪問を予定しております。また、全国アーツカウンシルネットワークへの会議参加や、全国に事例調査、情報交換の推進を行い、宮崎県内の芸術文化活動への還元を進めてまいります。

### 3 各種研修事業の実施

県内の文化芸術関連人材の不足が挙げられます。そのため、これまでのような講座型の研修事業から、定期的に行うスクール型の講座を行う予定です。また、各地域や団体ごとで異なるニーズに対して、アーツカウンシルの専門性を生かした対応を行います。

### 4 助成事業の助言・評価

来年度の県民芸術祭並びに「ひなたの文化活動推進事業」の助成募集にあたっては事前相談会を開催し、

事業へのアドバイス、提言を行い、また申請予定団体の活動状況への聞き取りを行います。採択後は採択団体を対象としたキックオフミーティングを開催し、全国の文化芸術活動の状況についての情報提供を行います。

### 5 情報発信

SNSによる情報発信、県民芸術祭採択団体の事業紹介を行います。また県内文化施設や博物館の情報発信や、全国の情報を県内に向けて発信していく予定です。

### 6 新たな事業の提案（調査・研究及び政策提言）

県の文化条例に基づき、新たな文化振興計画が策定される予定です。アーツカウンシルみやざきとしては、これまでに得た知見や現場の状況を踏まえて提言を行います。また加盟団体はじめ県内市町村に対するヒアリング調査を上半期に実施するなどして、全県に及ぶ文化芸術活動支援の体制を構築します。

公益財団法人宮崎県芸術文化協会会員・賛助会員・役員等

会 員

42団体 順不同 (令和5年8月1日現在)

団 体 名	代表者名	団 体 名	代表者名
宮崎県歌人協会	杉田一成	宮崎県吟剣詩舞道総連盟	松川岳匠
宮崎県俳句協会	服部修一	日本郷土民謡協会宮崎県支部・洲明会	小 淵 洲明女
みやざきエッセイスト・クラブ	福田 稔	村 上 三 弦 道	村 上 由宇月
宮崎県現代川柳協会	間瀬田 紋章	琴伝流大正琴宮崎支部	真 木 妙 子
ひむかかると協会	梅津 顕一郎	宮崎県華道協和会	持 田 生 鳳
宮崎県美術協会	山本 祐嗣	芽桜流宮崎県本部	芽 桜 寿千代
宮崎県美術連盟	園田 博一	宮崎県太鼓連合	池 田 靖 洋
宮崎県書道協会	安藤 廣	宮崎市芸術文化連盟	八代 正輝
宮崎県音楽協会	島津 陽亮	延岡市文化連盟	町 田 訓 久
宮崎交響楽団	河口 安伯	日南市文化芸術協会	田 原 宣 輝
宮崎県アマチュアオーケストラ連盟	岩切 敏	小林市文化連盟	園 村 正 晴
宮崎県吹奏楽連盟	櫻井 和也	日向市文化連盟	花 柳 絹 太
みやざきチェロ協会	土田 浩	串間市文化協会	山 内 学
宮崎県合唱連盟	中園 哲也	西都市文化連盟	清 野 憲 一
宮崎県おかあさんコーラス連盟	安藤 真奈美	えびの市芸術文化協会	連 田 昇
宮崎県オペラ協会	泊 かずよ	国富町文化協会	橋 本 知 恵
宮崎県バレエユニオン	伊達 由侘子	高鍋町文化協会	田 中 隆 吉
宮崎県演劇協会	黒木 朋子	門川町文化協会	黒 木 安 幸
宮崎県川南町モーツァルト音楽祭実行委員会	多賀 学昭	諸塚村文化協会	松 本 久 義
宮崎県子ども劇場おやこ劇場連絡会	中 島 千津子	高千穂町文化協会	興 梶 則 夫
都山流宮崎県支部	熊元 城芳山		

役 員 (令和5年8月1日現在)

顧問	内藤 泰夫		
会長	岩切 裕敏		
副会長	中村 禎子	町田 訓久	熊元 一徳
常務理事	阪本 典弘		
理事	河口 安伯	黒木 朋子	園村 正晴
	田中 隆吉	土田 浩	二宮 勝憲
	島山 利枝	八代 正輝	山内 学
評議員	肥田 潤子	岩切 義弘	中馬 章一
	福田 稔	布施伊夜子	濱田 倫紀
	山本 祐嗣		
監事	永野 貴士	吉村久美子	

賛 助 会 員

次の団体様に賛助会員としてご支援いただいております。

(団 体)

NHK宮崎放送局 様  
 MRT宮崎放送 様  
 UMKテレビ宮崎 様  
 宮崎ケーブルテレビ 様  
 九州電力宮崎支社 様  
 宮崎県音響照明舞台事業協同組合 様

# 会員だより

## 宮崎交響楽団の活動状況

代表者 楽団長 河口 安伯



昨年、令和四年一〇月二三日(日)にメディキット県民文化センターで第四三回定期演奏会を開催しました。令和元年一〇月の第四二回定期演奏会から実に三年ぶりの演奏会でした。

この間「新型コロナウイルス感染症」対策のため練習会場の使用制限や団員の練習参加の自粛等、思うような練習が出来ない期間が続く、予定していた演奏会も中止が相次ぎ、練習内容の変更やお手伝いだく演奏者への連絡など、事務的なわずらわしさも多くみられました。



近年、団員の他県への転出や高齢での引退等団員の減少で、現団員だけでのオーケストラ編成の定時練習及び演奏会の実施が厳しい状態が続く、団員の確保が喫緊の課題となっています。

また、定期演奏会の会場として利用しているメディキット県民文化センターの工事に伴い、令和五年度中の第四四回定期演奏会の実施を見送ることになり、この間に団員の拡充に力を注ぐことにしました。定時の練習会場も、メディキット県民文化センターの工事関係で、常に同じ会場を確保することが難しくなりつつあります。公民館等では、管楽器など音が大きな楽器が加わると利用が困難となり、練習会場の確保も課題となっています。

なんとかオーケストラの灯を絶やさないよう、小説の「オケ老人！」を地で行っているような少数精鋭？の団体です。  
(文責・事務局 長 齋藤和洋)

## 原点回帰

### 五〇年の歩みの先に見えるもの

宮崎県オペラ協会長 泊 かずよ



昭和四七年(一九七二年)十一月二三日、当時宮崎に在籍する音楽指導者、声楽家、

音大卒業生を中心に設立して、半世紀の時が流れた。昨年の令和四年(二〇二二年)十一月二三日には、五〇周年を迎えた。本協会は、これまで既存のオペラや新作オペラなど、数々のグラントオペラを公演してきた。総合芸術であるオペラは、出演者のみではなく、脚本家、作曲家、演出家、音響、照明、スタイリスト、舞台装置、オーケストラ、さらには、チケット係や受付等々多くの方が関わり支えられて本番を迎える。だからこそその苦労と達成感は感慨深いものである。特に、世界で初めてのオペラ「赤毛のアン」は、見山靖代会長時代に、宮崎とカナダを友好関係に導いた世界的な作品となった。振り返ると、私たちが取り組んできたオペラは、「宮崎に芸術性の高い音楽文化を築きたい」との思いの一筋の光であった。次々に宮崎を



題材とした作品を世に送り出し公演することで、宮崎の文化向上や歌手の育成にも努めてきた。私たちの取組が、文化向上の一助になれたのならとても喜ばしいと誇りに感じている。

令和五年度より、地村俊政氏から私、泊を新会長として新たな時代を迎えた。趣味嗜好が多様化する今日、本協会に課せられた課題は何か、どこに向かうべきか。試行錯誤しながらも新たな方向性を導き出したい。そして、同じ音楽を愛する響き合える仲間とともに、ベクトルを一つにして「音楽の都 宮崎」を目指し、これからも発信し続けていきたいと心に誓う。

# みやざき文化振興計画の概要

## 1 計画の期間

令和5年度（2023年度）から令和8年度（2026年度）までの4年間

## 2 基本目標

一人ひとりの文化がつながり広がるみやざきを目指して

## 3 目指す姿

- 県民誰もが文化に親しみ、身近に感じることができるみやざき
- 県民が文化活動の主体となり、その能力を十分に発揮するみやざき
- 県民がふるさとの文化に誇りと愛着を持つみやざき
- 県民が文化を通じて連携し、地域に活力が生まれるみやざき

## 4 重点を置く視点

### 【重点を置く視点】

#### 1. 文化の裾野の拡大

より多くの県民が文化に興味関心を持ち、理解を深められるような環境・人材づくりを行っていきます。

#### 2. 様々な分野との連携の推進

文化の有する創造性や多様な価値を生かし、異なる分野の主体や施策と連携し、地域の魅力を増進します。

### 【主な取組等】

- 多様な鑑賞機会の充実
- 創作・発表機会の充実
- 誰もが文化に触れる機会の充実
- 文化を担う人材の育成・支援
- 事業者が行う従業員等の文化活動への支援の促進
- 文化を活用した地域づくりの推進
- 文化を活用した観光・産業の振興
- 多様な文化交流の促進

## 5 施策の体系

### 基本目標

一人ひとりの文化がつながり広がるみやざきを目指して

### 基本 施策

#### 文化を実感できる 環境づくり

- 1 文化に対する理解の醸成等
  - ① 文化や芸術を学習する機会の充実
  - ② 芸術家との交流
  - ③ イベント等による県民参加の拡大と発信力の強化
- 2 県民の鑑賞等の機会の充実
  - ④ 多様な鑑賞機会の充実
  - ⑤ アウトリーチ活動の充実
  - ⑥ 文化祭や美術展などの発表機会の充実
- 3 文化施設等の充実及び活用の促進
  - ⑦ 文化施設相互の連携の促進
  - ⑧ 地域文化の拠点としての機能の充実
- 4 事業者による文化活動等の促進
  - ⑨ 企業等が行う文化支援活動に関する情報の発信
  - ⑩ 従業員等の文化活動への支援の促進

#### 文化を支え、育む 人づくり

- 5 郷土に対する誇りと愛着の醸成
  - ⑪ 地域の伝統文化の継承
  - ⑫ 伝統文化の学習機会の充実
  - ⑬ 郷土先覚者の顕彰
- 6 子どもの感性等の育成
  - ⑭ 子どもが文化に触れる機会の充実
  - ⑮ 子ども創作・発表機会の充実
  - ⑯ 文化芸術教育に携わる教員の研修機会の充実
- 7 障がいのある人の文化活動の充実
  - ⑰ 障がい者が文化に触れる機会の充実
  - ⑱ 障がい者の創作・発表機会の充実
- 8 高齢者の文化活動の充実
  - ⑲ 高齢者が文化に触れる機会の充実
  - ⑳ 高齢者の創作・発表機会の充実
  - ㉑ 知識・経験活用及び世代間交流の促進
- 9 文化の担い手の育成及び確保
  - ㉒ 文化を担う人材の育成・支援
  - ㉓ 文化活動を支える専門的人材の育成・支援
  - ㉔ 文化財の保存・活用を担う人材や団体の育成・支援
  - ㉕ 文化団体等に対する活動の支援
- 10 顕彰
  - ㉖ 顕彰制度の充実

#### 文化を活用した 地域づくり

- 11 文化を生かした地域の活性化
  - ㉗ 文化財の調査や指定・登録の推進
  - ㉘ 文化資源を活用した地域づくりの推進
  - ㉙ 食文化の継承
  - ㉚ ユネスコ無形文化遺産・世界文化遺産登録に向けた活動の推進
- 12 文化を生かした産業の活性化
  - ㉛ 文化資源の掘り起こし
  - ㉜ 文化資源の情報発信
  - ㉝ 文化資源を活用した観光及び産業の振興
- 13 文化による交流の推進
  - ㉞ 地域間交流の促進
  - ㉟ 国際的な文化交流の推進
  - ㊱ 多様な文化交流の促進

宮崎県総合政策部  
みやざき文化振興課長

堀 尚子



宮崎県文化協会  
員の皆様方におかれましては、日頃より本県文化芸術の発展・向上のため、様々な分野で御協力いただき、深く感謝申し上げます。

また、貴協会におかれましては、「芸術文化賞」をはじめ、「みやざき文学賞」や「県民芸術祭」など、様々な文化芸術事業を展開され、本県の文化振興の中核的な役割を担っていただいております。重ねて感謝申し上げます。

この四月からみやざき文化振興課長に着任しました堀と申します。どうぞよろしくお願いたします。さて、三年という長きにわたり、県民生活に甚大な影響をもたらした新型コロナウイルス感染症もようやく収まりの兆しを見せ、いよいよ文化芸術活動を再開する動きが活発になっております。

このような中、県では、令和四年三月に制定した「宮崎県文化振興条

例」に基づき総合的かつ計画的な施策の推進を図るため、今年六月に「みやざき文化振興計画」を策定したところであります。

この計画では、年齢や障がいの有無、居住する地域にかかわらず、県民誰もが文化に触れ親しむことができる地域社会を目指して、「一人ひとりの文化がつながり広がるみやざきを目指して」を基本目標に定めました。

この基本目標の下、今後も県民の皆様の中にゆとりと潤いを与え、県民一人ひとりが生き生きと暮らすことのできる活力ある地域社会を実現するための取組を進めてまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

### ひなたの文化活動推進事業

昨年度からスタートした「ひなたの文化活動推進事業」。今年度は、二五事業の申請があり、一八事業が採択となりました。この事業はこれまでの文化芸術活動から視点を交えて、国文祭・芸文祭から活動の幅を広げる取組、観光、福祉、教育など他の分野と連携した取組や社会課題に向き合う事業を支援対象としていきます。単なる発表会や講演会では申請が難しく、社会に対して開いてい

く活動が求められています。「難しい」と思われる方も多くいらつしやると思うのですが、「文化」単体ではなく、多分野と連携することによって、「文化ごと」がやりやすくなったというメリットもあるのかもしれない。この事業を通して、昨年からの新しい文化芸術がたくさん生まれています。

特に印象的だったのが、地域で活動するフォークダンスサークルによる、「多様性の祭典」です。事前相談をお受けしたときは、「県内のフォークダンス愛好家を集めて発表会を行いたい」という内容だったので、当日、会場の体育館に入った瞬間、鳥肌が立ちました。目の前で高齢者、障がい者、車椅子利用者、子ども達が一緒になってフォークダンスを踊っていたのです。その光景は、圧巻でした。フォークダンスサークルが主体となって、地域を巻き込み、ここまで開かれた内容になっていたとは。なにより、みなさん楽しそう、ニコニコしていて、視察側の私も、見ているうちに、「輪の中に入ってみたい!」と思い、気づいたら、車椅子ユーザーの女性と手を繋いでオクラホマミキサーを踊っていました。すっごく楽しかった。普段なかなか交流することのな

い方々との出会い、温かさのある心地よい空間は、個人的にも忘れられないひとときとなっています。世代や分野を越えて、人と人が繋がること、開かれた文化芸術活動の大切さを実感しました。この仕事を始める前は、あんまりよく分からなかった「手段」としての文化芸術の意義を身をもって強く感じています。

今まで文化芸術活動にご尽力されてきた皆さまの思い、従来の文化芸術の意義を尊重しつつ、「ひなたの文化活動推進事業」を通して、文化芸術の新しいかたちに出会えるのが楽しみです。現在、県内各地で展開されておりまして、「ひなたの文化活動推進事業」採択事業一覧をご参考に、ぜひ、多くの会場へ足を運び下さい。

気になる事業がありましたら、「アーツカウンシルみやざき」まで、お気軽にお問い合わせください。

「ひなたの文化活動推進事業」採択事業一覧（※日程場所は変更する場合があります）

ODOKODEN = SOKODEN  
DOOR (FabLab 回廊β (ファブ  
ラボミヤザキベータ))  
八月五日(土)〜一〇月初旬予定  
宮崎駅ひむかきらめき市場

○いつでもお気軽東米良観光(特定非営利活動法人東米良創生会)

令和六年一月二〇日(土)東米良仁の里等

○富松良夫生誕一二〇年祭(富松良夫顕彰会)

一〇月二二日(日)都市総合文化ホール(中)

○Zine it! × MEGANE ROCK Park 2023 (メガネロック)

十一月二六日(日)アクターズスクエアコーヒー、宮崎市別府街区公園など

○短歌でフルコース(諸塚短歌会)

八月二六日(土)諸塚村福祉館

○子どもの文化・インキュベーション事業(一般社団法人のべおか風と土の学校)

日時・場所:未定

○宵がたり第二十夜〜古事記〜(宵がたり)

令和六年二月四日(日)宮崎市サルマンジャー

○動画制作配信体験事業 KADBro-01 (カドプロ・ゼロワン)(公益財団法人門川ふるさと文化財団)

日時・場所:未定

○「見る・聴く・触る」むかしの鍵盤楽器(クラヴィヤージュ)

令和六年一月二一日(日)・二月四日(日)・二月二三日(金)・祝)都市ムジカホール

○県北四財団連携事業子ども向け公演「ムジタンツ」〇歳からの音楽会(公益財団法人のべおか文化事業団)

日時・場所:未定

○チャルネイロ音の研究所(おもしろい音のコンサート)(Createfelds合同会社)

日時・場所:未定

○御神木ヴァイオリンプロジェクト〜ミュージック・デイキャンプ〜(神話の里文化・芸術育成Association)

一〇月二九日(日)都市山田町古民家Bon Cafe

○Bamboo Music Miyazaki (成澤けやき)

日時・場所:未定

○日本舞踊ひむかのをどり(日本舞踊 絹彩の会)

令和六年一月二八日(土)日向市智古神社社殿

○宮崎・長野ブリッジプロジェクト 超時空劇団☆異次元中毒×

Canibalコラボ公演(超時空劇団☆異次元中毒)

日時・場所:未定

○あんでなスマイルキャラバン!(本田泉)

九月一五日(金)、一〇月五日(木)、一〇月二二日(木)、十一月一日(水)、十二月一七日(日)、令和六年二月七日(水)県内小学校、児童館など

○カメラ体験を通じた山村と都市を繋ぐ共創プロジェクト(一般社団法人ハチハチ)

日時・場所:未定

○地域の文化資源活用による若者の地元愛着醸成のための観光サイクリングルート開発とみやざきサイクルツーリズムの普及(都農町観光協会)

一〇月一五日(日)都農町内

## 編集後記

本年五月八日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが二類から五類に変更され、夏祭りなど多くの行事が四年振りに賑やかに開催されている。

文化関係も同様であって、四年振りというさまざまな活動が展開され

ている。

ただ、三年余りというこの期間には重いものがあり、コロナ前と全く同じということはなく、どこか微妙に異なっていると感じられる。多くの人の心の奥にそれぞれの形でコロナ体験が蓄積されているのだろう。それがこれからの活動にどのような影響を及ぼしていくのか、注視してゆきたい。

なお、本年度には編集委員の変更が行われた。長らく務めておられた山中峰生氏と興梠マリアさんが退かれ、新たに猪鹿倉潔氏と齋藤登美枝さんが加わった。山中峰生氏と興梠マリアさんにはこれまでのご苦労に深謝申し上げます。猪鹿倉氏と齋藤さんにはこれからの活躍を期待したい。(裏部 敬夫)

みやざき芸文協 第123号

令和5年9月27日発行

編集・発行

公益財団法人 宮崎県芸術文化協会

〒880-0804

宮崎市宮田町3番46号 県庁9号館

TEL 0985-31-2780 FAX 0985-31-2782

<https://www.miyazakigeibun.jp/deliverables/>

こちらのQRコードからもご覧いただけます

印刷所 鋳脈社

